



7772 避難生活用テントH2-ST

7774 避難生活用テントH4-ST

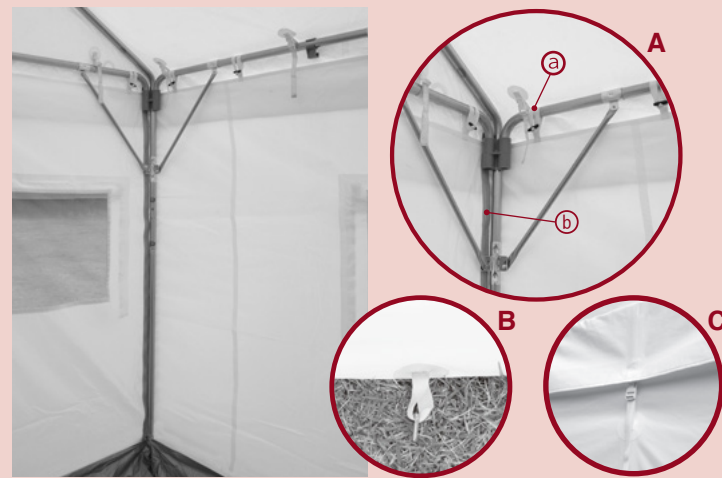
5. 前後面と両側面の垂幕を取り付けます



上部の吊テープと留木の取り付け方

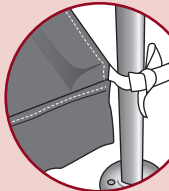
前後面垂幕の上下、内外を確認し、上部の吊テープと留木で妻けたに取り付けます。そして、両側面垂幕の上下、内外を確認し、上部の吊テープに留木で軒けたに取り付けます。

6. 四隅の垂幕(前後面・両側面)をファスナーで連結します



四隅の前後面の垂幕を吊テープで写真 A-③ のように固定し、次に前後面と両側面の垂幕をファスナーで連結します。(写真 A-④) 垂幕のたるみがないように張り具合を調整してください。さらに垂幕内側の下部の吊テープをピンで固定し(B)、外側の屋根幕のあおり止めも固定します。(C)

7. グランドシートを取り付けます



四隅を縛りテープで支柱、中支柱^{※1}に固定します。



縛りテープを側面幕のループに固定します。

グランドシートの縦横の方向を確認して、床面に十分に広げ、縛りテープで支柱・中支柱^{※1}、側面幕に固定します。

8. ロープでフレームを固定します



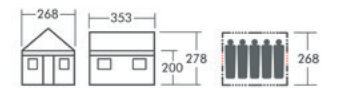
ロープをフレームの合掌の根元に結びつけ、木自在で長さ調整をしながらハンマーでクイを打ち、先端に引っ掛け、木自在を利用してロープにテンションをかけて固定します。

◆ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

組立完成



H2-ST



H4-ST



※写真はH4を使用しています

安全上のご注意

ご使用される前に良く読み、必ず一度建ててみてください。
▲記号は警告・注意の内容であることを表します。

警告

誤った取扱いをした時に、死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。

取扱説明書通りにフレーム・幕体・付属品がセットされているかを確認し、必ず一度組み立ててください。まれに縫製上の不備やセットミスなどにより、テントが建てられない場合があります。テントを収納する時は、フレーム、ロープ、クイ、ピンなどのパーツの数量を確認してください。

テント内では換気に十分注意し、時々換気を行ってください。

ベンチレーター、入口、窓を閉じて、多人数で長時間テント内に滞在すると酸欠により身体に支障を来すこととなります。ベンチレーター、入口、窓等を有効に活用し、換気を行ってください。また、テント内での喫煙や火気の使用はおやめください。

テントの中やテントの近くでは、絶対に火気を使用しないでください。

- テントの生地は防炎加工を施していますが、熱によりとける可能性があります。
- テント内部の照明は、バッテリー式のランタンや懐中電灯を使用してください。

「取扱説明書」をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

ここには安全上に関する重大な注意事項を示しています。製品を安全に正しくご使用いただき、危害や損害を未然に防止するために、必ず守ってください。

注意

誤った取扱いをした時に、人が傷害を負ったり物的損害の可能性のある内容を示しています。

テントは必ず2人以上で組み立ててください。

1人で組み立てますと、テント生地やフレームに無理な力がかかりやすく、テントが破損する場合があります。

就寝時や強風時、雨天時には、ファスナーの開口部を閉じてください。

夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風でテントが飛ばされたり、雨水が溜まってテントがつぶれる危険があります。

テントは必ず固定してください。

- 風でテントが飛ばされたり、屋根部に雨水が溜まってテントがつぶれる危険があります。テントが吹き飛ばされた場合には、人や車、他のテントなどに当たって大きな損害になる可能性があります。
- クイは全数きちんと打ってください。また、ロープは全数きちんと張ってください。撤収時には、必ずクイを全数抜き取り、数量をチェックしてください。
- テントは、クイで固定する前、またはクイを抜いた時、急な突風で飛ばされることがあります。テントが飛ばされぬよう、手を放さないでください。クイを打つ前に補強用のロープをあらかじめ仮止めしてください。また、撤収時は安全のため、ロープによる固定は解かず作業してください。

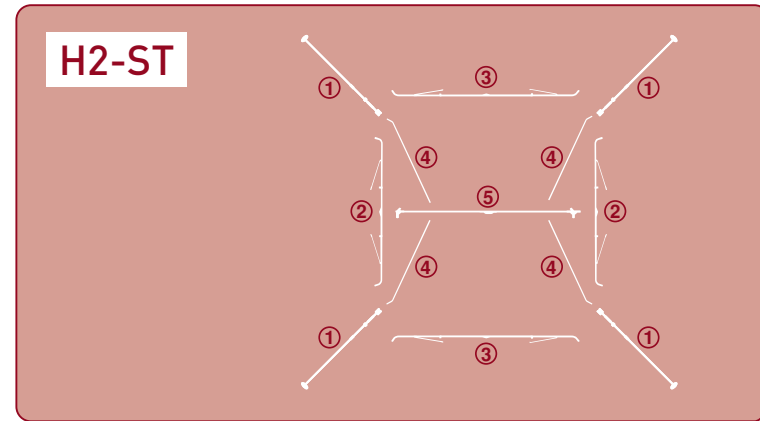
台風や落雷の時には、管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。

悪天候の時には、テント内は安全な場所ではありません。台風など、強風が吹いている場合には、テントをしっかり固定しても、倒壊したり吹き飛ばされたりする可能性があります。また、テントに落雷する可能性もあり危険です。



避難生活用テント H2-ST・H4-ST / 部材一覧

テントを設置する場所に下図を参考にフレーム(部材表のフレーム番号)の各部材を配置してください。



■幕体

名称	数量
屋根幕	1
両側面垂幕	2
前後面垂幕	2
グランドシート	1

※屋根幕+付属品で1梱包
 ※両側面垂幕+前後面垂幕+グランドシートで1梱包

■フレーム

名称	数量	梱包No.
① 隅柱	4	3-1
② 妻けた	2	3-1
③ 軒けた	2	3-2
④ 合掌	4	3-2
⑤ 棟	1	3-2

※フレームはワンセット2梱包です。

■付属品

名称	数量
ハンマー	1
クイ	4
ピン	16
ロープ	4
収納袋	1
クイ袋	1

※付属品は屋根幕と同梱となります

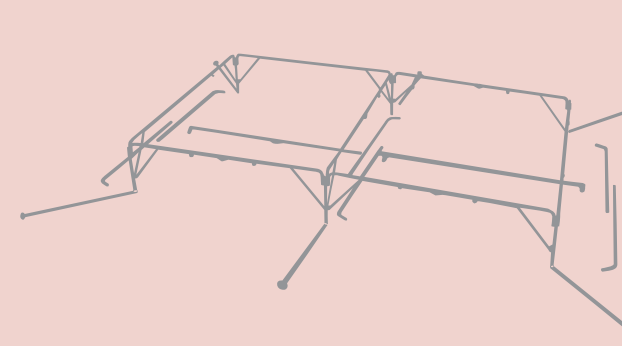
避難生活用テント H2-ST・H4-ST / 組み立て方法

◆ここではH4-STの組み立て方を解説しています。H2-STについてもほぼ同様の手順で組み立てられますが、一部で不要な説明(※印箇所)があります。※印の内容をご確認の上、組み立ててください。

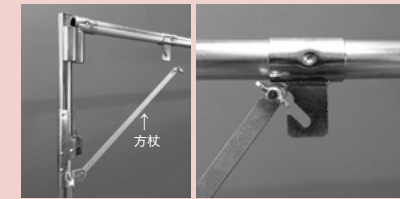
※1: H2-STに中柱はありません。

※2: H2-STの棟はA、Bに分かれておらず、各面で1本ずつとなります。

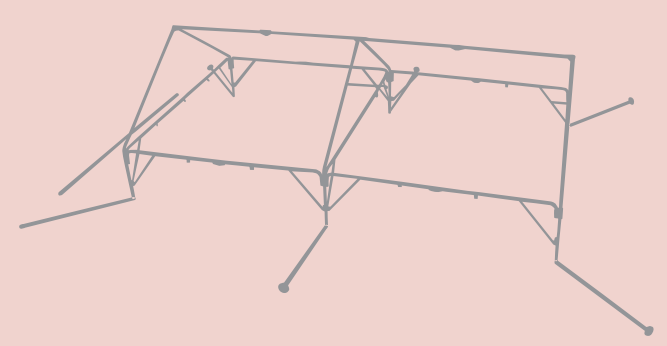
1. フレームのけた部分を組み立てます



妻けた、軒けたの両端をジョイント部に各々差し込みます。次に方杖を各桁に固定してください。



2. フレーム屋根部分を組み立てます



片側の合掌の曲がりの部分の下端を隅柱と中柱^{※1} 上部のジョイント部に差し込んでから棟 A と棟 B^{※2} を接続し、棟部を頂上部の合掌に差し込みます。残った片側の合掌の上端を棟部に差し込み、下端を隅柱、中柱^{※1} 上部のジョイント部に差し込みます。最後に補助合掌を棟 A、B^{※2} と軒けたの中間部にはめ込みます。



3. 屋根幕をフレームにかぶせ、固定します



屋根幕をフレームの上に広げ、シワを伸ばしながら、屋根幕がフレームに合うように整えます。

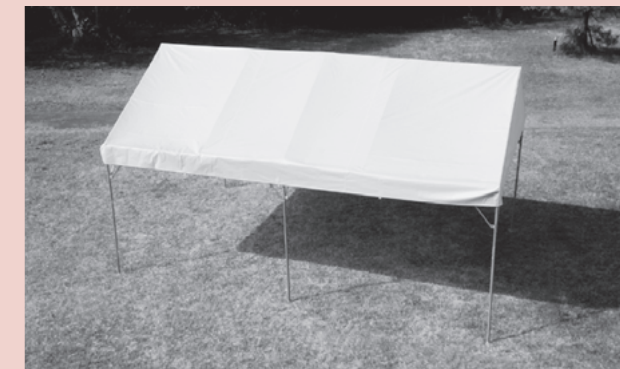


屋根幕の裾部内側に付いているバックルで軒けた妻けたに固定します。

4. フレームを立ち上げます

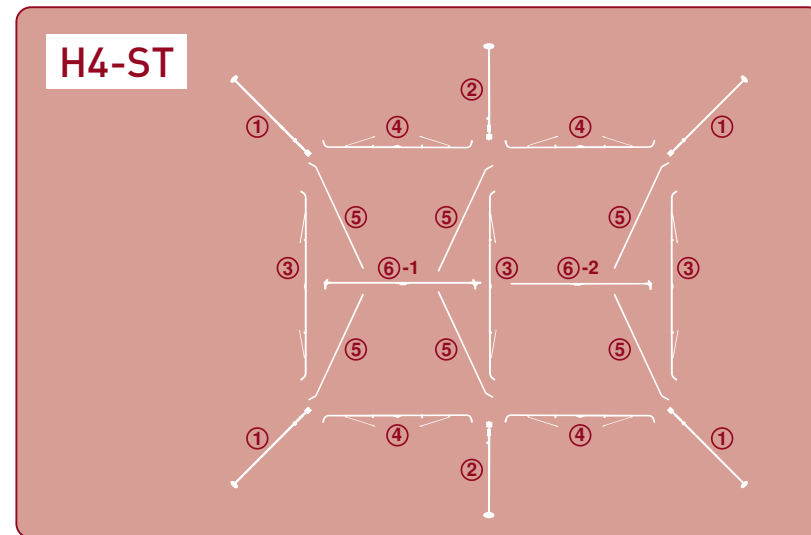


フレームの片側の隅柱、中柱^{※1} の脚部を立ち上げます。



もう一方の隅柱、中柱^{※1} も同様に脚部を立ち上げてください。

H4-ST



■幕体

名称	数量
屋根幕	1
両側面垂幕	2
前後面垂幕	2
グランドシート	1

※屋根幕+付属品で1梱包
 ※両側面垂幕+前後面垂幕+グランドシートで1梱包

■フレーム

名称	数量	梱包No.
① 隅柱	4	4-3
② 中柱	2	4-2
③ 妻けた	3	4-1
④ 軒けた	4	4-3
⑤ 合掌	6	4-2
⑥-1 棟A	1	4-2
⑥-2 棟B	1	4-2

※フレームはワンセット3梱包です。

■付属品

名称	数量
ハンマー	1
クイ	4
ピン	18
ロープ	4
収納袋	1
クイ袋	1

※付属品は屋根幕と同梱となります